

議長記者会見（第44回）会見録

日時：令和4年12月19日（月）

午後2時15分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室

会見を行う石田議長（右）と不破副議長（左）



それでは、今定例会を終えて、所感を少し述べさせていただきます。

最初に、北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議についてであります。

今年、北朝鮮は過去にない頻度で核弾道ミサイルの発射を繰り返し、我が国の国民の生命や安全・安心を脅かすもので、本県漁業関係者の皆様を始め船舶や航空機の安全確保の観点からも、断じて許すことができないとして、今定例会開会日の今月1日に「北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で可決いたしました。

県議会として、北朝鮮に対し、厳重な抗議と強い非難の意を表明し、弾道ミサイルの開発を直ちに中止するよう強く求めるものであります。

また、今定例会では、行政のデジタル化や女性活躍に関連して、西垣副知事を指名した質問が何件もあり、副知事は、落ち着いて丁寧に答弁をされていたことも、特に印象に残っております。

デジタル化の旗振り役として大いに力を振るっていただきたいと思います。

次に、今定例会を振り返ってであります。

今ほどもお話ししました、行政のデジタル化を始め、デジタル技術の施策への活用の方向性など、デジタル化の推進について多数の質問がありました。

また、昨今の社会経済情勢を反映した、コロナ禍・物価高騰対応の経済対策としては、中小事業者への支援や、電力料金の大幅な値上げに対する今後の対応などについて質問がありました。

さらに、広域ネットワーク道路網の整備について、のと里山海道の4車線化工事や、金沢外環状道路海側幹線や南加賀道路等の整備の進捗状況や今後の計画などについての質問がありました。特に、のと里山海道4車線化については、上棚矢田インターチェンジ以北の整備に関して、今後、国へ働きかけるとのことであり、大いに期待しております。

ほかにも、新型コロナウイルス感染症対策や、北陸新幹線・並行在来線に関連するもの、社会福祉会館の建て替え、東京のアンテナショップの機能充実、能登牛や加能ガニなどのブランド価値向上についてなど、多岐に渡り議論がなされました。

執行部においては、今定例会での議員からの質問の趣旨を踏まえた上で、今後の施策の実行や予算へ反映していただくとともに、県議会としても、引き続き、コロナ禍・物価高騰などに対応した経済対策をはじめとした様々な施策が、機を逸することなく実行できるよう、県民の安全と安心な生活に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えております。

また、今定例会中に可決された意見書についてであります、「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、各会派から提案のあった7件の意見書のうち、「子供たちの学びの環境の更なる充実を求める意見書」など4件が可決されました。

可決された意見書4件については、議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

次に、今年を振り返ってであります。

今年3月には、28年ぶりとなる本県知事の交代がありました。

馳知事が着任して、8か月余りが経過しましたが、今後、馳知事が就任後初の本格的な当初予算案を編成することとなり、次の定例会において、審議することとなります。馳知事の政策理念がどのように予算に反映されるか、注目しているところであります。

さらに、今年には地震や大雨に伴う被害が発生いたしました。

能登では、地震が頻発し、特に6月には珠洲市を震源とし、震度6弱の大きな地震が発生し、被害をもたらしました。

また、8月には、県内各地で大雨が相次ぎ、河川の氾濫や浸水被害、土砂災害等が発生し、特に加賀地域で大きな被害をもたらしました。

発生から4か月が経過しようとしておりますが、順次、本格復旧工事や改良工事が進められており、工事が迅速かつ適確に執行されるよう、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

また、7月には、新県立図書館が開館いたしました。

開館後、多くの皆様方にご利用いただき、来館者数は、目標を上回る勢いとのことであり、全国からも視察が相次ぎ、高い評価をいただいているとお聞きしております。

図書館が「知の殿堂」として、引き続き、多くの皆様に利用され、県民の期待に応えられるよう、今後も魅力ある企画や行事に期待いたします。

最後になりますが、県議会でも、ふれあい親子県議会教室を3年ぶりに開催するなど、私が、今年、県議会議長として出席した行事などを見ても、感染対策を行った上でということではありますが、コロナ禍前までの行事やイベントの開催状況に戻りつつあると感じております。

今後、こうした状況がさらに続いていくことを願っております。

私からは、以上であります。

<質疑応答>

記者

来年度予算、2月、3月議会での話ですけど、こういったところがポイントになるとか、課題でもありますでしょうか。

石田議長

課題というか、馳知事が、どういう方向性を示してくるか、それによって、また、様々な意見を言っていきたいと思います。さきほどから言いましたけど、いろんなことがありますので、それをどう対応するのかということに関心を持っています。

記者

次の予算委員会協議会等で示されるものを楽しみに、楽しみにというのかわからないですが、どんなものが出てくるのか、といったところですね。ありがとうございました。

記者

副議長、今年を振り返っては、どうですか。

不破副議長

議長が言ったことに尽きるかなと思いますけど、私は、図書館が地元なので、これで賑わいが出ているなあとうれしく思っておりますし、地元の人だけじゃなくて、多くの県民や、県外の方にも評価をいただいていることは誇らしいことだと思っています。

あとは、親子県議会教室で、事務局の皆さんにちょっと無理を言いますけれど、なるべ

くたくさんの親子に参加できないかということ、無理を言いまして、本来なら2日間、20組、20組で、いっぱいいっぱいのところを25組、25組にして、当日は1組お休みになったので計49組になりましたけれど、そんなところも、副議長という立場でプッシュできたところかなあということは思っています。

記者

ありがとうございました。

以 上